

## 郡地図 Ver 1.1 説明書

令和 3 年 6 月 19 日（12 月 30 日改訂）

郡地図研究会

### 1. 郡地図について

郡地図 Ver 1.1（以下、「郡地図」）は、明治時代中頃（市制及町村制施行の頃）における郡・市の範囲を、シェープファイルに収録したものです。

郡地図は、郡地図研究会の会員が協力して私的に作製したものです。

### 2. データセットの概要

#### 【データ形式】

シェープファイル

#### 【種別】

ポリゴン

#### 【測地系】

EPSG:4301 – Tokyo（日本測地系・緯度経度座標系）

#### 【エンコーディング】

UTF-8

### 3. 基準時期

郡地図が対象としている時期は地域によって異なります。

具体的には以下の通りとなります。

青森県～鹿児島県	明治 23 年 2 月 15 日（島嶼部を除く全域に市制及町村制施行）
沖縄県	明治 29 年 4 月 1 日（沖縄県ノ郡編制ニ関スル件）
小笠原	明治 31 年 7 月 14 日（南鳥島ヲ東京府所属小笠原島司ノ所管ト為ス）
北海道	明治 32 年 5 月 29 日（北海道区制）
樺太	大正 4 年 6 月 26 日（樺太ノ郡町村編制ニ関スル件）
台湾西海岸	大正 9 年 10 月 1 日（台湾州制）
台湾東海岸	昭和 12 年 10 月 1 日（台湾庁制）

### 4. 地図の誤差について

個人が作製したものであり、正確性については保証できません。

なお、200m 程度までの誤差を許容して作製しています。

## 5. 作製に当たって参考とした資料

郡地図は、筑波大学 空間情報科学分野/行政界変遷図データベース研究会作製の明治 22 年行政界データおよび国土数値情報の行政区域データをもとに、各種の古地図を参照してなるべく正確と思われる境界を引いたものです。

一覧は郡地図参考資料.xlsx を参照

## 6. 郡コードについて

明治元年以降の郡について、一対一対応のコードを付与し、CODE 属性に掲載しています。

国郡の順番は以下の資料に準拠しています。

樺太 樺太庁 編『第一回国勢調査結果概報 世帯及人口』（大正 10 年）

奥羽～西海 『天保郷帳』（天保 5 年）

北海道、沖縄 正院地誌課 編『日本地誌提要』（明治 5 年）

台湾西海岸 台湾総督官房臨時国勢調査部 編『第一回国勢調査結果概数』（大正 10 年）

台湾東海岸 拓務省管理局 編『外地地方行政区画便覧』（昭和 16 年）

一覧は Ver 1.1 郡コード.xlsx を参照

## 7. 使用について

郡地図は、クリエイティブ・コモンズ・ライセンスの表示 4.0 国際に従うことで利用できます。

利用する際には、出典を記載してください。可能であれば URL を付してください。

編集・加工して利用する場合は、出典を記載するとともに、編集・加工等を行ったことを記載してください。

いずれも連絡は不要です。

（出典記載例）

「郡地図 Ver 1.1」より

（編集・加工等して利用する場合の記載例）

「郡地図 Ver 1.1」を加工して作成

## 8. 更新について

郡地図は、誤りが見つかった場合に逐次更新しています。

使用される際は、最新の版をダウンロードいただき、ご利用ください。

郡地図について誤りを見つけた場合は、ご連絡いただけますと幸いです。

## 9. 免責事項

郡地図を利用して何らかの損害が生じた場合でも、補償等は一切行いません。

## 10. 問い合わせ先

Twitter : @Dhanow

(広報担当)

なお、使用の許諾については、上記条件を守っていただければ問い合わせを行う必要はありません。